

OBI P STYLE

オビピー
スタイル

帯広市 PTA 連合会

帯広市PTA連合会通信
第107号

令和7年3月5日発行

発行責任者／佐藤 真也
編集／広 報 部
編集責任者／中山 史也



帯広市PTA連合会からの情報発信は、紙面だけでなく、
WEB や SNS にも力を入れています。
皆様のご意見をお聞かせください。

本紙は通算107号を迎えました。時代の流れとともに、発信する情報も変化しています。現在、紙面は年2回発行しており、ホームページやSNS (Facebook・Instagram) でも随時情報を発信しています。

そんな中、紙面とWEBのそれぞれの特徴を踏まえ、よりタイムリーで双方向性のある情報発信の形を模索しています。今後、より多くの方にWEBでの情報もご覧いただけるよう、PTAの皆さまから広くご意見をいただきたく思います。

お忙しいところ恐縮ですが、右記の二次元コードからアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。(所要時間の目安:1~3分)



回答期限
~3/31(月)



子育て未来フェス2024 楽しく終了しました!

今年度は“子どもも参加できる研修会”を開催し、託児や子ども向け研修会を提供することで、これまで参加をためらっていた方々にも多くご参加いただきました!

第7分科会 HIP HOP ダンス体験

◆講師/内杉 早苗氏
(セミプライベートピラティススタジオ FLOW)



参加者の声

とっても楽しかったよ



第8分科会 キッズものづくり講座

◆講師/帯広市放課後子ども広場スタッフ



参加者の声

子どもを預けて安心して自分も学ぶことができました



第4分科会/給食人気メニュー 肉じゃがづくりに挑戦!

◆講師/立花 洋子氏(帯広市学校給食センター 下森 初実氏 管理栄養士)



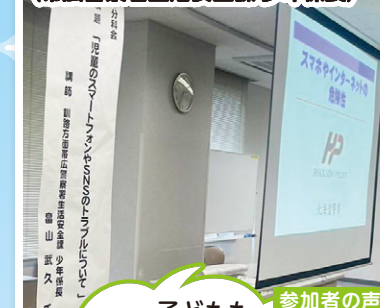
参加者の声

いざ作ってみると想像していたより作りやすくて、さっそく子どもと一緒に夕飯のおかずになりました



第3分科会 児童のスマートフォンやSNSのトラブルについて

◆講師/畠山 武久氏
(帯広警察署生活安全課 少年係長)



参加者の声

子どももわかりやすい内容で、自分ごととして考えられるのではないかと感じました

第1分科会 みんなでつくる不登校支援システム ～予防、初期対応、中長期対応～



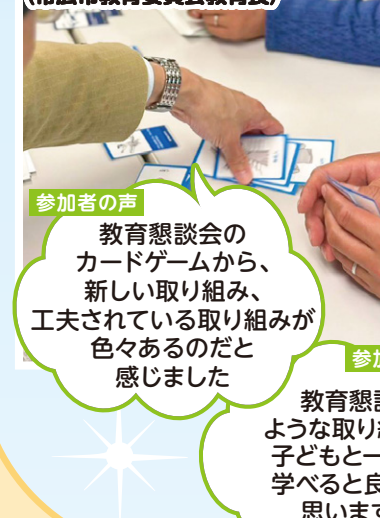
参加者の声

実際の教育現場で試行錯誤しながら実行している支援システムについて話を聞く貴重な機会となりました

◆講師/清末 有二氏
(芽室町教育委員会 教育推進課長補佐)

第5分科会/教育懇談会 おびひろ市民学を学ぼう

◆講師/広瀬 容孝氏
(帯広市教育委員会教育長)



参加者の声

教育懇談会のカードゲームから、新しい取り組み、工夫されている取り組みが色々あるのだと感じました

参加者の声

教育懇談会のような取り組みを子どもと一緒に学べると良いと思います

第6分科会 親子で学ぶ応急手当



参加者の声

内容がとてもよかったので、次は災害訓練的な内容もあるといいと思いました

参加者の声

小中学生にも知ってほしい内容だと感じました

◆講師/山下 萌氏
(帯広市消防署救急課)

第2分科会/金融リテラシーって何!? ～子どもの金融教育、大人の金融教育～

金融リテラシーとは、「経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な【お金に関する知識や判断力】の事」です。

人生の三大支出と言われる、住宅、教育、老後を考えた時の資産構成(現預金、株・投資、保険・年金)において、日本は他国と比べ、現金、預金が多く“保守的で慎重な国民性”が見えるとの事です。

子どもの金融教育では、北海道はまだ意識が低くトラブル等に巻き込まれないためにも教育が必要であり、帯広市内の学校で授業を行っているそうです。

「お小遣いは、目的をハッキリさせて、必要に応じて増やす」「余った分を貯金する」のではなく、“始めに分けておき貯金をする”事を習慣としていくといい」とアドバイスがありました。

大人の金融教育では、NISAやiDeCo、投資など、詐欺に遭わないために自分たちでも勉強をする必要がある等、リスクとリターンは同格である事を頭に入れておく必要があるとの事でした。

最後に、【お金は使うものであり、振り回されないように】という言葉で、沢山の方にお越しいただいた分科会を締めました。

参加者の声

自分の子どもに対して伝えたい内容が多くあり、大変有意義でした



◆講師/齊藤 徹氏
(日本銀行 帯広事務所 所長)

令和6年11月17日開催
『子育て未来フェス』
報告

フェス当日は大人180名、子ども70名と、本当に多くの方にご参加いただきました。

アンケートでは、「PTA 連合会の活動目的や内容を理解するきっかけになった」、「子ども向け研修会があったことで、大人も安心して参加できた」、「小さな子どもがいるため託児を利用して学びの時間をとれた」など、たくさんの嬉しい声をいただきました。このアンケート結果をもとに、今後の改善に役立てていきたいと思っています。

子育て未来フェス2024の開催にあたり、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

また来年度も多くの皆さまのご参加をお待ちしております!

帯広市PTA連合会の
SNSも
フォローしてね♪



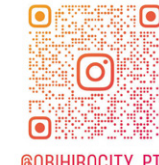
Home page



Face book



Insta gram



給食センターの
肉じゃがのレシピ

みなさんもぜひご家庭で作ってみてくださいね





周年おめでとう！

令和6年度

周年を迎えた学校紹介



光南小学校 開校70周年

輝く夢へ！
～みんなでつなげ、
光南の歴史～



本校は、鉄南地区の目覚ましい発展に伴って明星小学校の規模が限界に達したため、地域住民の強い願いのもと、昭和29年3月24日の市議会文教委員会において校名を光南小学校と決定し、同年4月1日に開校されました。当時、光南小学校に校舎はなく、校地だけが現在の場所に確保されただけだったため、明星小学校の体育館において開校式を行い、明星小に5つ、第四中に4つの教室を間借りし、9学級児童数477名でその歴史をスタートさせました。

その後、さらなる地域の発展や隣接校のマンモス化解消のために、数度にわたる通学区域

の変更や増築を繰り返してきました。特に平成16年には、体育館と一体型の拠点校プールが完成し、児童たちがより良い環境で体育活動や水泳活動を行える施設が整いました。

また、学校は開校以来、「地域とともにある学校」を目指しており、地域社会との連携を強化し、地域住民との絆を深めるための取り組みを続けてきました。開校70周年を迎えるにあたり、光南小学校はこれまでの歩みを振り返り、今後も地域社会とともに成長し、未来を担う子どもたちを育てるために努力し続け歴史を重ねていきます。

広野小学校 開校50周年

～いつまでも かがやけ 広野小～

昭和50年4月1日に、旧広野小学校、八千代小学校、拓成小学校を統合して、帯広市立広野小学校が開校(全校児童79名)しました。当時は広野市街にあった旧広野小学校の校舎でしたが、4月27日に今の校舎ができあがり、引っ越しをしました。当時は川西地区でソフトボール大会や陸上大会、スケート大会が行われていました。翌年(昭和51年)6月12日に体育館ができました。

それから50年の月日が流れ、令和6年12月7日、開校50周年記念式典を挙行了いたしました。記念事業として、バルーンあげやオペラ歌手谷地聡子さんを招いてのリサイタル・熱気球体験などを行いました。

これからも地域とともにウェルビーイングな学校づくりを進められるよう、全力を尽くしてまいります。



帯広第八中学校 開校50周年

～爽やかな生き方を育てるため、前進を続ける～

本校は、昭和49年4月1日に12学級、生徒414名で開校しました。現在は439名の生徒が、開校当初のままの校舎で学校生活を送っております。

過日、帯広市長、帯広市議会議員、帯広市教育委員会教育長をはじめ、ご来賓の皆様、表彰者の皆様のご臨席を賜り、開校50周年記念式典を開催できましたことに心から感謝申し上げます。

本校は「爽やかな生き方を育てる」という学校教育目標を掲げ、生活習慣や学習習慣の定着に加えて、心を育てる教育を充実させてまいりましたが、半世紀の折り返しから100年に向けて新たなスタートを切りました。帯広第八中学校の更なる発展に向け、これからも努力を続けていくことをここにお願い申し上げます。



★優秀賞

日本教育
新聞社賞

啓北小学校

PTA

「こんにちは。」

受賞おめでとう！

第42回全道PTA

広報紙コンクール受賞PTA



★優秀賞

北海道公立学校
教頭会賞

清川小学校

PTA

「はぐくみ」



★優秀賞

北海道
小学校長会賞

稲田小学校

PTA

「いなだの杜」



★奨励賞

- ・緑丘小学校PTA
- ・帯広第四中学校PTA
- ・帯広第一中学校PTA

帯広市から
6校も入賞するという
素晴らしい結果を
達成しました。
各校PTA会員さんの
努力の賜物です！

PTA広報紙コンクールに応募しませんか？

詳しくは、市P連広報部にお問合せください

✉ obihropren@gmail.com